

八千代町町内の地域経済を支える小規模事業者は、需要の低下、売上の減少、経営者の高齢化による事業承継等の問題に直面し、経営を持続的に行うための経営課題の解決が必要となっている。

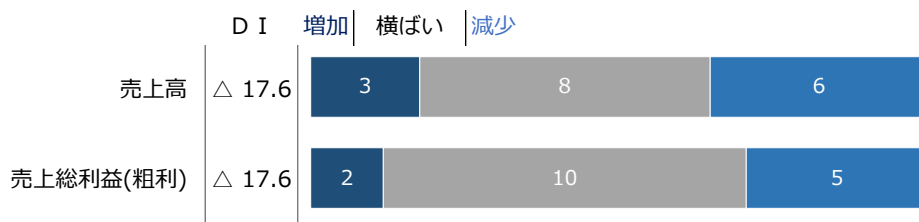
そこで、伴走型小規模事業者支援推進事業として、八千代町の事業者に景況感や経営上の問題点に関するアンケート調査を実施する。収集した情報は事業者に提供するだけでなく、商工会としても事業者に対する効果的な支援策の立案に役立てるものである。

アンケート調査概要

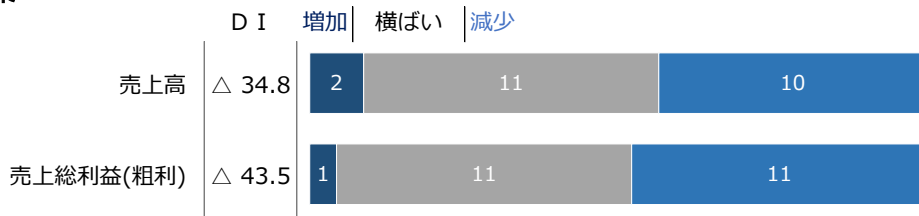
調査時期	平成29年8月～9月
調査対象	八千代町内小規模事業者を主体調査対象とする
調査方法	郵送後、返信用封筒にて回収
回答数・回収率	88件・17.6%

景況感(業種ごと)

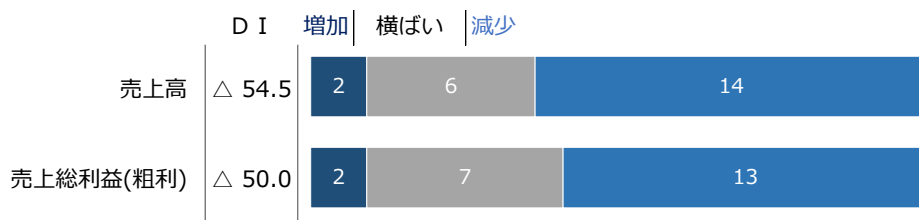
製造業



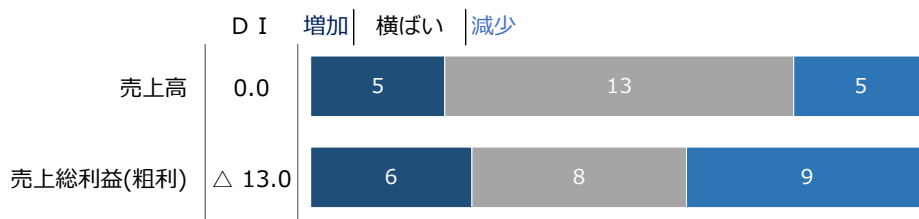
建設業・運輸業



卸売業・小売業

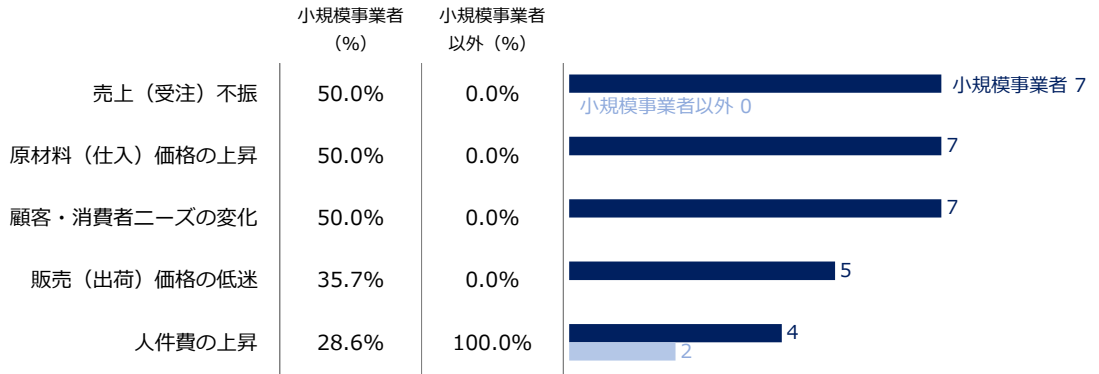


サービス業等

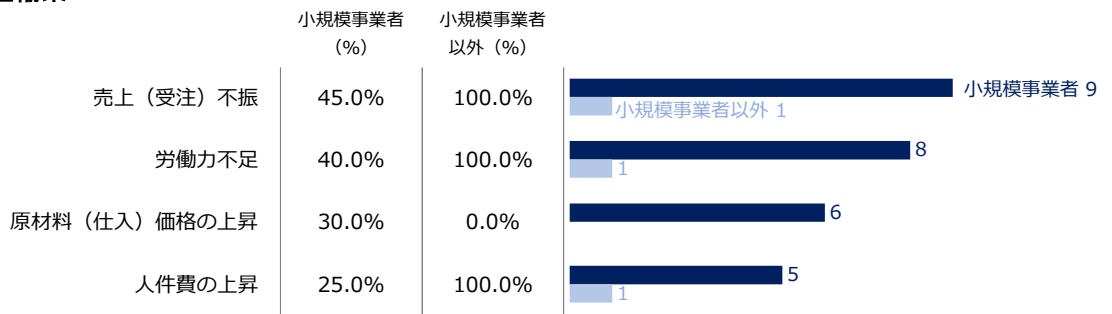


経営上の問題点(業種ごと、上位)

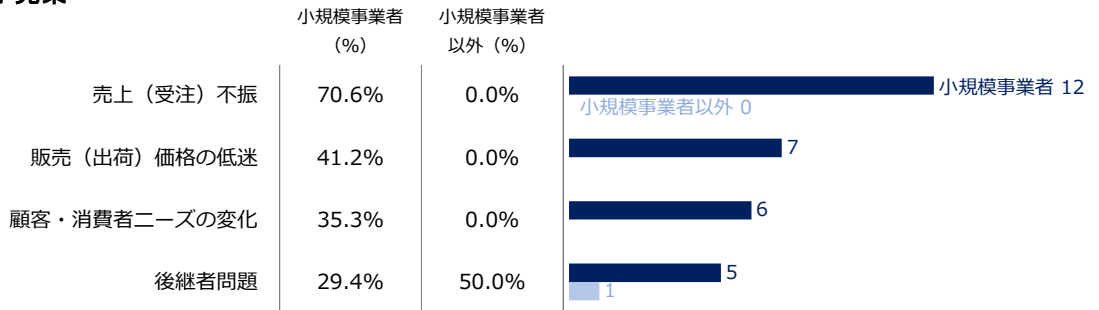
製造業



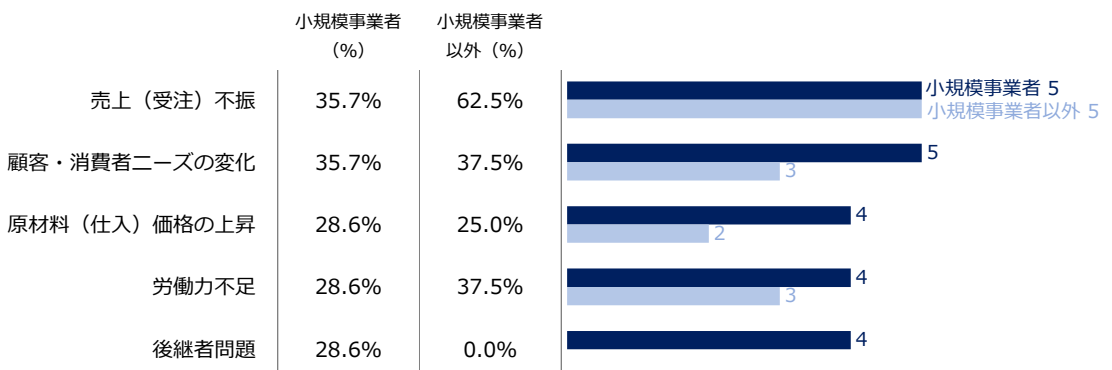
建設業・運輸業



卸売業・小売業



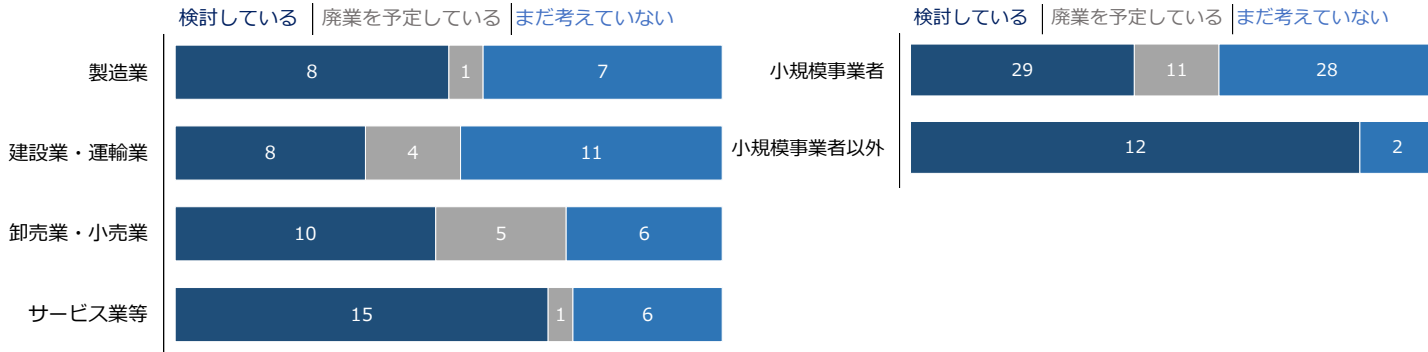
サービス業等



事業承継

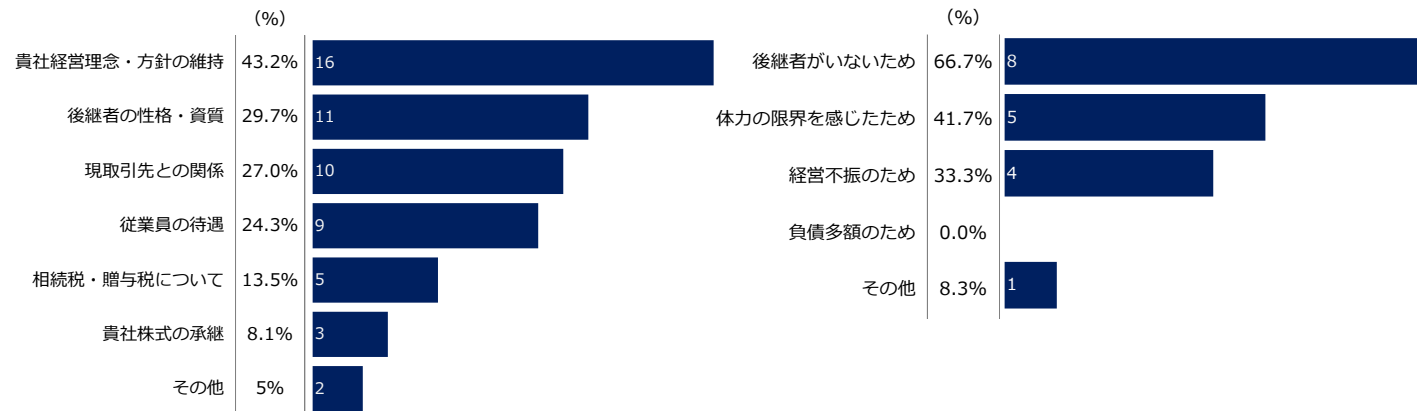
製造業、サービス業等で事業承継の検討割合が高い。卸売業・小売業では、「廃業を予定している」事業者が23.8%にのぼる。

小規模事業者の方が事業承継の検討が遅れている。廃業は小規模事業者特有の課題。



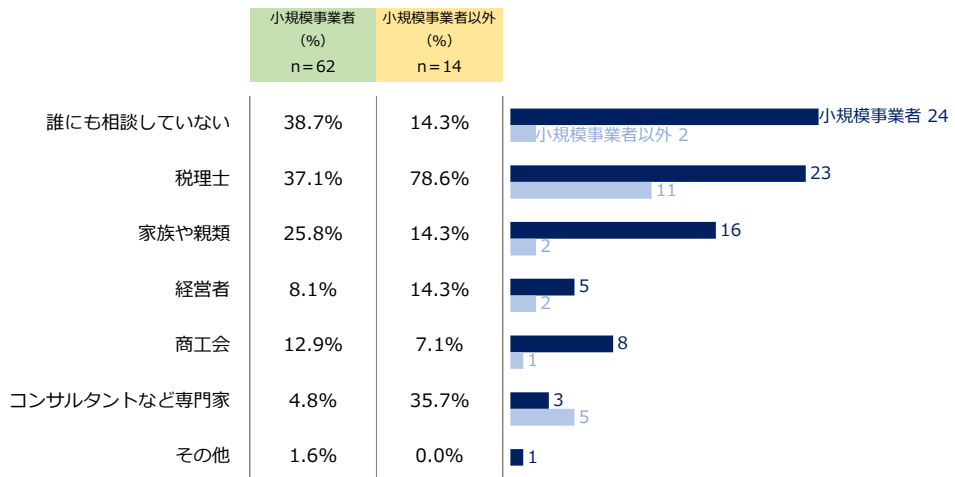
事業承継で関心のある内容では、「貴社経営理念・方針の維持」がもっとも多い。

廃業する理由では、「後継者がいない」や「体力の限界」が多い。



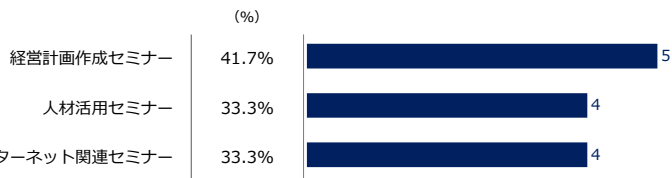
経営の相談相手

小規模事業者では、約4割の事業者が「誰にも相談していない」と回答。比較的規模の大きな事業者は「税理士」や「コンサルタントなど専門家」に相談している。

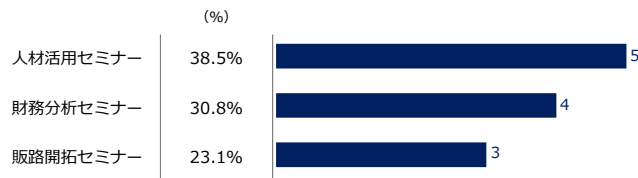


参加したいセミナー(業種ごと、上位)

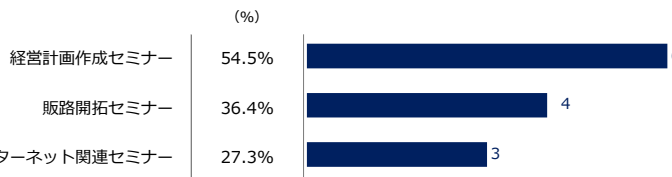
製造業



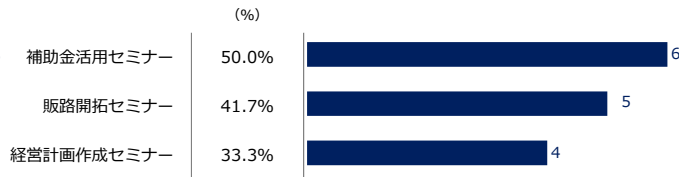
卸売業・小売業



建設業・運輸業



サービス業等



総括

(1)直近3年間の売上が減少傾向にある事業者が多い

直近3年間の売上高、売上総利益(粗利)の増減を「DI」という指標を使い分析する。

売上高DIをみると、サービス業等の0.0ポイントがもっとも高い数値であり、製造業→建設業・運輸業→卸売業・小売業と続く。

八千代町の全業種(全回答)と比較すると、建設業・運輸業や卸売業・小売業で、全業種よりも低い数値となっている。つまり、これらの業種は、八千代町のなかで景況感が悪いといえる。一般的に、アベノミクス進展に伴う公共工事の増加や2020年の東京オリンピックの開催などで建設需要は増加しており、建設業・運輸業の景況感は良い。しかし、八千代町の事業者をみると、そうとも言い切れないようである。また、卸売業・小売業は、消費者の購買活動の多様化の影響を受け、全国的な傾向同様、売上が減少している事業者が多い。

売上総利益(粗利)DIに関しても、売上高DIと同様の傾向になっている。

(2)半数の事業者が「売上(受注)不振」を経営上の問題点としている

次に経営上の問題点を見る。全業種(全回答)のうち、実に50.0%もの事業者が「売上(受注)不振」を問題点としている。業種別(小規模事業者)に着目すると、卸売業・小売業の70.6%がもっとも高い割合となっていることがわかる。

(3)約半数の事業者が事業承継を「検討している」

少子高齢化が社会問題となっている。そのなかで、事業者(経営者)の年齢も高齢化しており、事業承継を考える時期にきている。八千代町の事業承継の状況を見ると、約半数の事業者は事業承継を検討していることがわかる。